

れいめい

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1

まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560

らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588

サニーズマーケット TEL027-212-8301 / FAX027-212-8302

アペリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588

ホームソレイユ/ホームあおぞら TEL027-260-1900(らいず内)

〈コロナ禍における障害福祉サービス〉

サニーズマーケット施設長 石倉 敦也

新型コロナウイルス感染症の流行は2020年、世界中の人々の生活に大きな影響を与えました。昨年末ごろ中国で発生したといわれるこのウイルスですが、2月に入ると国内でも感染が確認され、その後、全国に急激に感染が拡大していったことは皆様ご承知のとおりです。国は4月16日に全国に向け緊急事態宣言を発令し、国民に対し様々な制限を設けたことから、国内の経済活動等が大幅に減速・停滞する事態となりました。この未知のウイルスに対応するためには、マスクの着用やこまめな手洗いなどの自らの感染予防対策の徹底はもちろんですが、3密の防止をはじめとした自粛生活など、これまで経験したことがない状況に多くの人が不安や戸惑いを感じたことでしょう。

国は感染拡大防止を徹底するため、学校の休校や時差出勤、リモート勤務の推奨、飲食店への休業要請、イベントなどの自粛要請などの対策を講じました。

人とかかわりを基本とする私たち福祉事業者も日々大きな不安を抱えながらの対応となりましたが、その反面、私たち福祉事業者は、緊急事態下においても簡単に止める訳にはいかない社会にとってのエッセンシャルワーカーであることを改めて認識することができました。

これまで福祉事業者にとって感染症問題といえばインフルエンザとノロウイルスのことでした。しかし、新型コロナウイルスではワクチンや治療薬が未だ開発されていないこともあって、これまでの感染予防対策だけでは利用者や職員の健康を護ることができないと危惧しています。当法人では、2月13日付の厚生労働省事務連絡「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応について」を受けて、2月27日に「新型コロナウイルスの感染防止対応に関するお願い」としてご家族及び職員向けに注意喚起を行いました。（注意喚起は、計3回行っています）幸いにして、当法人が運営する事業所の利用者及び職員の中には今のところ感染者は確認されていませんが、通所型の福祉事業所では入所型に比べ感染リスクが高いといわれていますので、今後は「ウイルスを職場に持ち込まない」「万一感染が確認された場合は拡大させない」がより重要になると考えられます。

当法人は、このコロナ禍の中での感染予防対策及び万一感染が確認された際の対応や事業継続のためのルールづくりを急ぐため、「大規模災害BCP（事業継続計画）」や「新型インフルエンザ発生時の対応」などを参考に情報収集を行いながら、7月8日「新型コロナウイルス感染症BCP（事業継続計画）」第一版を策定し職員に対し周知することができました。（BCPとは、新型感染症流行時の、法人としての基本方針や行動指針などを定めたもので、感染予防対策、事業所や職員の義務、利用者等の受入れ基準、事業の縮小や休業条件などが定めてあります。）コロナ禍が日常生活を脅かす中、医療従事者や福祉従事者が感染すると誹謗中傷などいわれなき差別が各地で起こっています。感染予防の観点から自粛生活となってから半年以上が経ち、我慢も限界、たまには羽を伸ばしたいと思う今日この頃ではありますが、まだ新型コロナは終息したわけではありません。今後も一人ひとりが気を緩めることなく「新しい生活様式」を守り責任ある行動をとることが大切だと思います。～「新型コロナウイルス感染症、退散！」一日も早い終息を願います。～

【参考】福祉新聞社の調査によると、9月末までに全国で1,014か所の福祉施設で感染が確認されており、うち、223か所がクラスターとなっています。

〈まほろ活動報告〉

生活支援員 萩原 真紗美

まほろでは下請け事業部と花野菜事業部の2つの作業班に分かれて活動しています。今回は下請け事業部について報告したいと思います。

下請け事業部は総人数48名中、28名の方が在籍しています。作業内容は、マックスの針詰め、薪(まき)の製品化、箱折り・シール貼り等の内職作業を中心に活動しています。作業を進めていく中で、メンバー毎に得手不得手が見えてきます。その得意な分野を見極めながら一人ひとりが自信を持って取り組めるように作業支援を行っています。マックスの針詰め作業を行う際はミスなく丁寧にたくさん作ることができるように、また薪の製品化では薪の太さや形を考慮しながら箱詰めを行えるように、各メンバーがやる気を持って参加できるように声掛けの仕方や作業環境を工夫しています。また作業結果を自信につなげられるように作業の種類や量を各自のメモに記入し、出来た数量等、確認を行っています。自分ができた数量を確認することで、次はもっと多くの完成品を仕上げようと励みになっています。作業終了後には、「こんなに出来たよ」「頑張ったよ」と笑顔で報告してくれる姿が見られ、作業意欲の向上につながっていると実感しています。不得意の部分は、スタッフと一緒に時間をかけて繰り返し練習をおこないます。苦手な作業も練習を重ねていくうちに正確に仕上げるできるようになってきます。今では、その作業の主力の一員として参加できるようになった方もいます。いろんな種類の作業を毎日の目標量が達成できるように、メンバー・スタッフ一緒にがんばっています。同じ作業を同じ場所、同じメンバーでおこなうことで、みんなの様々な表情を見ることができます。嬉しい事や悲しい事などの感情や思いを共有し、これからもいろいろな活動と一緒に過ごしていきたいと思っています。



〈らいずの活動報告〉

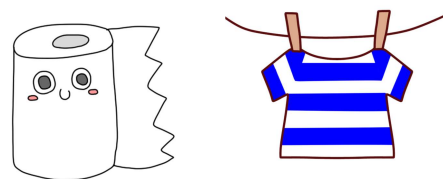
生活支援員 角田 佳子

らいずでは、ホチキス作業やモチーナ作業などの作業活動の他、創作活動や体力維持・リハビリ・リフレッシュなど利用者さんの障害特性にも配慮を行いながら様々な活動に取り組んでいます。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行ということで、感染予防対策として戸外での活動を自粛しているところですが、代わりに屋内でも楽しみながら取り組める活動を新たに考案し実施することとしました。今回は、そんな視点に立ち、取り組んだ室内活動について実践も交えご紹介したいと思います。

らいずは生活介護事業所ということもあり、もともと作業中心の日課とはなっていませんが、コロナ禍の中では、なかなか戸外での活動に取り組むことができず、それではということで、「自分でできることを増やそう」を目的に小グループで計画を立て新たな取り組みとして以下の活動に取り組むこととしました。

まずは、〈トイレットペーパーの正しい使用量を覚える〉です。支援室の一角にトイレットペーパーを設置し、支援者が手本を示しながら取り組んでもらっています。次は〈シャツやタオルをたたむ〉です。段ボールで作った補助具を使って、シャツやタオルをたたんでもらいます。また、〈衣服のジッパー・ボタンをはめてみよう〉、〈手洗いが丁寧に出来るようになろう〉、〈掃除の仕方を覚えよう〉など、いずれもまずは支援者が手本を示し、その後、お一人お一人に挑戦してもらいます。過日「家庭でもできるようになった」と、お礼の言葉をいただくことがありましたが、その時は「〇〇さんすごい」と、とてもうれしく感じました。

今後も利用者やご家族に喜んでいただけるよう創意と工夫をもって頑張っていきたいと思っています。



〈サニーマーケット活動報告〉

職業指導員 森田 知香

サニーマーケットが開所して今年で8年となりました。今では利用者の方と支援員の連携が取れ、一生懸命に仕事に取り組んできたことで、取引先等からの評価も上がり様々な作業を任せいただけるようになりました。また、昨年より施設外就労にも積極的に取り組んでいます。今回はその施設外就労の取り組みを紹介させていただきます。

サニーマーケットが行う施設外就労では、主に群馬中央病院様と㈱まるだいの作業に取り組んでいます。群馬中央病院様では、病院敷地内にある花壇の1年を通じた管理業務です。まほろが育てた花を持ち込み花壇へ植えていると、来院した方々に「ありがとう」「ごくろうさま」「お花きれいだね」などと声をかけていただけることもあり、その時は利用者さんも満面の笑みで応対していました。今後も病院に訪れる方々に明るい気持ちになっていただけるよう作業を頑張っていきたいと思っています。

また、㈱まるだい様では、主に納豆関連の作業に取り組んでいます。作業を始めた昨年の4月頃は一種類の作業のみでしたが、今では丁寧な仕事ぶりが評価され、納豆の袋詰め作業、機械のラインを使い賞味期限を印字する作業、段ボールへのスタンプ押し作業、納豆釜の洗浄など計12種類の作業を依頼されるようになりました。

仕事を任せていただいている以上、仕事に対する責任として正確性というものがよりいっそう求められ大変なこともあります。その分やりがいや充実感・達成感というものを味わうことができていると感じます。施設外就労の場面では、使命感を持って作業に臨んでいる利用者の方もあり、社会の中で働くということを学べる貴重な場になっているとも感じています。今後も施設内での作業を核としながら、施設外就労の場を利用者の方の自信に繋がるよりよいものにしていけたらと考えています。



〈ホームあおぞら〉

生活支援員 茂木 智紀

ホームあおぞらでは現在、男性利用者4名、女性利用者2名が生活を送っています。

ホームに帰ってくると手洗いを済ませ、夕食までの時間はリラックスタイムです。テレビを観たりパズルをしたりアルバムの写真を観たりとそれぞれの時間を過ごしています。食後は食器を下げたり洗ったりテーブルを拭いたりそれぞれ自分たちが出来ることを手伝ってくれます。ホームあおぞらでは夜間の支援も含め細心の注意を払いながら、利用者の皆さんが今後も安心して安全に生活できるよう頑張っていきたいと思っています。

〈アベリア〉

相談支援専門員 舘野 真生

4月より新体制（舘野・大竹）で相談支援事業所アベリアをスタートいたしましたが、新型コロナウイルスの影響で、今まで行っていたご家族からの聴き取り、モニタリング、サービス担当者会議、グループホームや短期入所先の見学、学校との連携などが、これまでのように直接お会いしての対応とならず、電話での対応が多くなりご不便を掛けておりますが、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

なかなか出口の見えない状況ではありますが、アベリアでは、利用者様が必要とする福祉サービスが滞ることなく適切に提供されるよう業務に取り組んでいるところです。

今後も常に利用者様の立場に立って、ニーズに基づくサービスが提供できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。

1. 法人概要

法人本部 所在地：前橋市青柳町983-1 電話番号：027-260-1900

代 表 者 理事長 加藤 信成

役 員 等 理事（6）、監事（2）、評議員（7）

法人事業 障害福祉サービス事業

まほろ	就労継続B型	定員（40）	職員（20）
らいず	生活介護事業	定員（40）	職員（28）
サニーズマーケット	就労継続B型	定員（20）	職員（10）
ホームソレイユ	共同生活援助	定員（4）	職員（4）
ホームあおぞら	共同生活援助	定員（7）	職員（6）
アベリア	特定相談・障害児相談		職員（2）

2. 役員会等開催状況（令和元年度）

日付	項 目	内 容
R1.5.17	法人監事監査	1. 平成30年度会計執行状況及び法人・施設運営状況 2. 平成30年度有機認証に係る業務運営状況報告
R1.5.29	第1回理事会	1. 平成30年度事業報告及び決算報告 2. 各種規定見直し 3. 評議員選任解任委員の選任 4. 次回評議員会招集項目等
R1.6.15	第1回評議員会	1. 平成30年度事業報告及び決算報告 2. 役員の選任について 3. 理事長及び業務執行理事の職務状況報告
R1.6.15	第2回理事会 (臨時理事会)	1. 理事長及び業務執行理事の選任 2. 各種規定見直し
R2.3.25	第3回理事会	1. 令和元年度第1次補正予算 2. 令和2年度事業計画及び当初予算計画 3. 就業規則見直し及び処遇改善事業の実施状況

3. 主な事業推進状況（令和元年度）

4月・家族会総会 ・初任者研修	7月・全国施設長会 ・県育成大会	10月・種別代表者会議 ・まほろ家族旅行
5月・避難訓練 ・監事による監査 ・法人理事会 ・れいめい祭	8月・夏季特別研修会 9月・福祉パレード ・らいず家族旅行 ・合同職員会	11月・サニーズ家族旅行 ・研究発表会 12月・クリスマス会 1月・ゆうあいフェスティバル
6月・法人評議員会	・県障害者スポーツ大会	2月・合同職員会
7月・関東地区職員研修会	10月・避難訓練	3月・法人理事会

4. 法人情報公開（現況報告・決算報告等）

法人ホームページ上で確認できます。 →→→ <http://www.mireimei.or.jp/>